



表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。

令和7年度版 中学校教科書準拠

英語 学習者用デジタル教科書 学習者用デジタル教科書＋教材 指導者用デジタル教科書（教材）

操作マニュアル



光村図書

教授用資料

2025.04 版

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとって作成したものです。
資料内に出てくる「QRコード」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

もくじ

1. デジタル教科書・教材の主な共通機能	1
2. 学習者用デジタル教科書の機能	3
3. 学習者用デジタル教科書＋教材の機能	15
4. 指導者用デジタル教科書（教材）の機能	22

デジタル教科書・教材の主な機能の違い

①学習者用デジタル教科書

②学習者用デジタル教科書＋教材

③指導者用デジタル教科書（教材）

	録音／ タイマー	ネイティブ スピーカー の音声	実写ドラマ／ アニメ	本文 (和訳等)	ピクチャー カード 並べかえ	ピクチャーカード／ フラッシュカード／ Words	リスニング問題／ スクリプト表示	リスニング 問題等の 解答表示	Tサポート (指導者支援)
①	●	●	● (QR)	● (QR)	● (QR)				
②	●	●	●	●	●	●	●		
③	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※②「学習者用デジタル教科書＋教材」は、①「学習者用デジタル教科書」の機能を全て搭載。

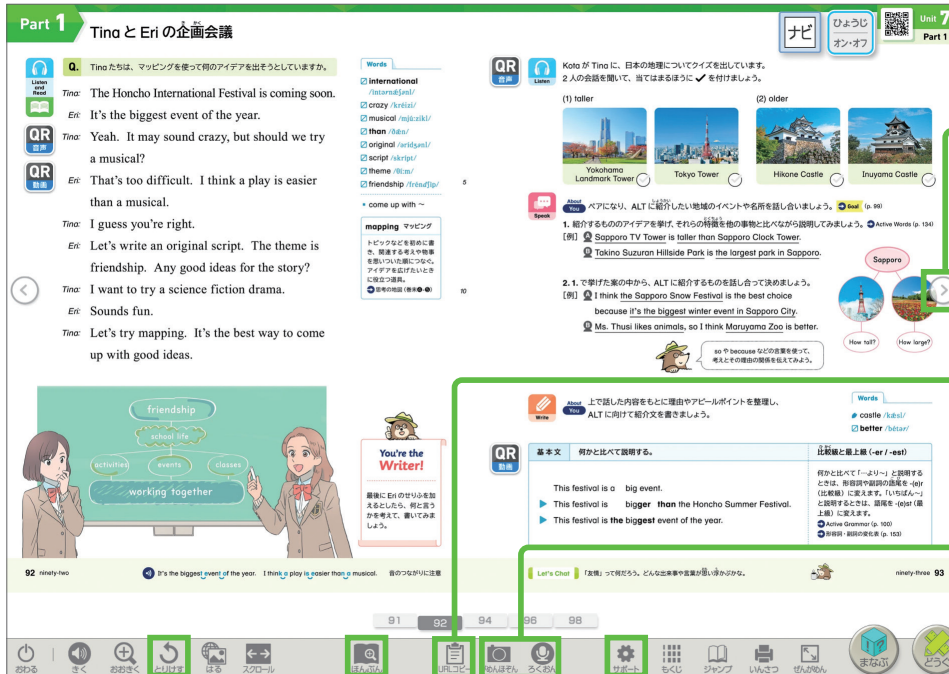
※③「指導者用デジタル教科書（教材）」は、②「学習者用デジタル教科書＋教材」の機能を全て搭載。

※（QR）とあるものは、QR コンテンツのみで使用可能。

1. デジタル教科書・教材の主な共通機能

■ ツールエリア※の主な共通機能

※画面下部の「まなぶ」「どうぐ」以外の機能



ページ遷移
ページを移動する。

URL コピー
特定のページやコンテンツを
直接開く URL を取得できる。

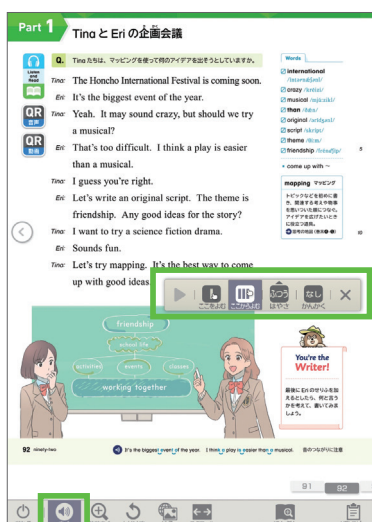
がめんぼぞん・ろくおん
デジタル教科書上で、
スクリーンショットや
録音ができる。

とりけす
操作や書き込みを
取り消す。

ほんぶん (リフロー)
特定のエリアを拡大表示し、
レイアウトを調整できる。

サポート
ふりがな表示や文字色・背景色などの
設定ができる。

【きく】 「きく」を押してから、デジタル教科書上で音声を聞きたい場所をタッチすると、
音声再生される。



一文だけ再生する。

「きく」を終了する。

再生速度を変更する。

音声を再生／停止する。

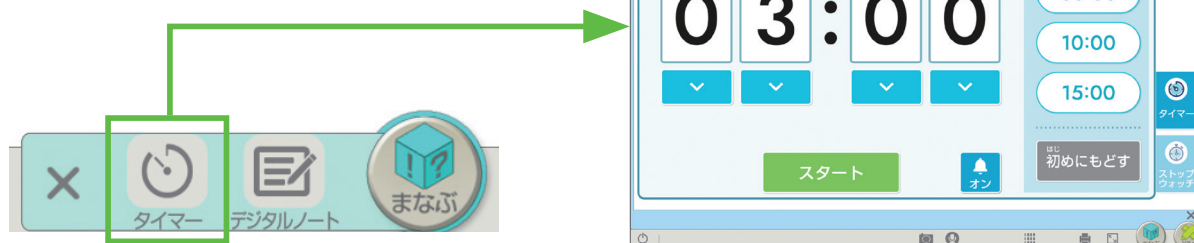
特定の文から
続けて再生する。

一文再生した後、
リピートする間の有無を
切り替える。

■「まなぶ」「どうぐ」の主な共通機能

【タイマー】

「まなぶ」内の「タイマー」から、
タイマーとストップウォッチを起動する。



【デジタルノート】

「まなぶ」内の「デジタルノート」から起動する。マッピングやベン図を使用して、
自分の考えを整理したり、発想を広げたりする際に活用できる。

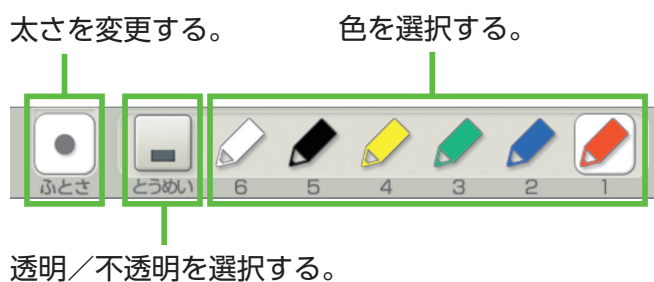
【ペン】 【せん】

「どうぐ」内からそれぞれ起動できる。

「どうぐ」からは、ペンやせん以外にも、ふせん、スタンプなどを使用できる。



フリーハンドで線や文字を
書き込むことができる。



直線などを書き込むことができる。



2. 学習者用デジタル教科書の機能

■ 音声（Unit の本文やリスニング問題の音声）

各 Unit の扉や、Part ページにある  から、別ウィンドウで開く。
当該ページの QR コードからもアクセスできる。



主な使い方

▶ 本文の音声を聞く

- Unit や Part の導入時に、本文音声を聞いてストーリーの概要をつかむ。
- 家庭学習でも使用できる。

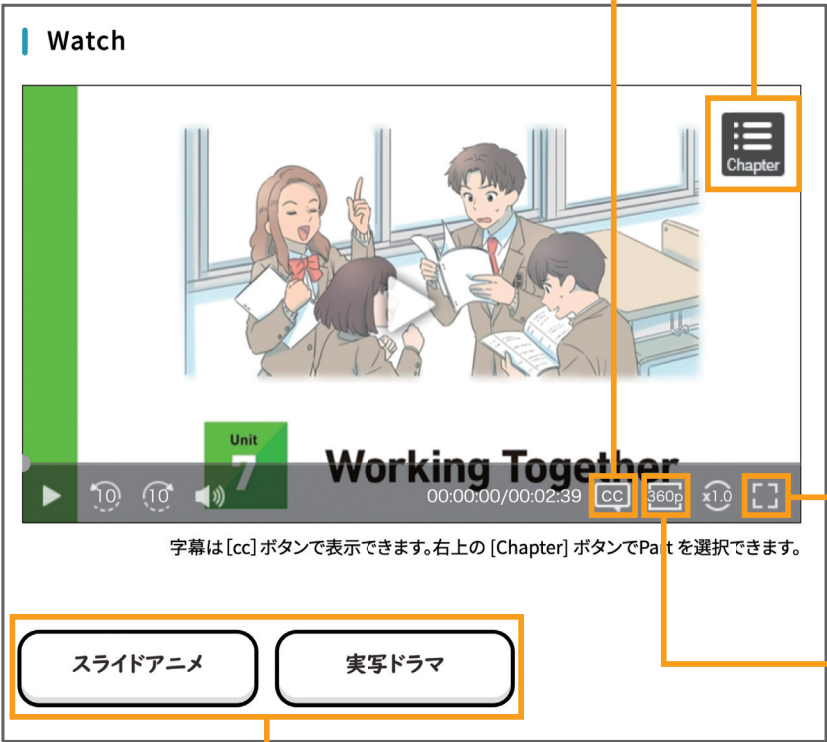
▶ 個別にリスニング活動を行う

- 生徒がそれぞれの端末を使い、Part 右ページの Listen の音声を聞いて設問に答える。
- わかるまで何度も音声を聞く、わからなかった箇所だけもう一度聞く、再生速度を変更するなど、個に応じた学び方で活動できる。

■ スライドアニメ／実写ドラマ（Unit の本文の動画）

各 Unit の扉や、Part 左ページにある  から起動する。
当該ページの QR コードからもアクセスできる。

字幕を設定する。 特定の Part から再生する。



字幕は [cc] ボタンで表示できます。右上の [Chapter] ボタンで Part を選択できます。

全画面表示する。

画質を変更する。

スライドアニメ

実写ドラマ

スライドアニメ／実写ドラマを切り替える。

主な使い方

▶ 動画を見て本文の内容を確かめる

- Unit の導入で、本文の音声を聞いた後、動画を見てストーリーの内容を確かめる。
- スライドアニメと実写ドラマのうち好きなほうを選んで使う、字幕を表示する、再生速度を変更するなど、個に応じた学び方ができる。

▶ 音読練習に使用する **Extra**

- スライドアニメまたは実写ドラマの音声をオフ、字幕をオンにし、本文の場面や状況を意識しながら、登場人物になりきって音読する。ペアやグループを作り、音読活動を行うこともできる。
- まとめの活動として、端末の機能を使って音読音声を録音し、提出させてもよい。

■ ピクチャーカード並べかえ

各 Unit の扉ページにある  から起動する。

当該ページの QR コードからもアクセスできる。

カードをタッチやドラッグで動かし、並べかえることができる。



主な使い方

▶ 本文の概要理解度確かめる

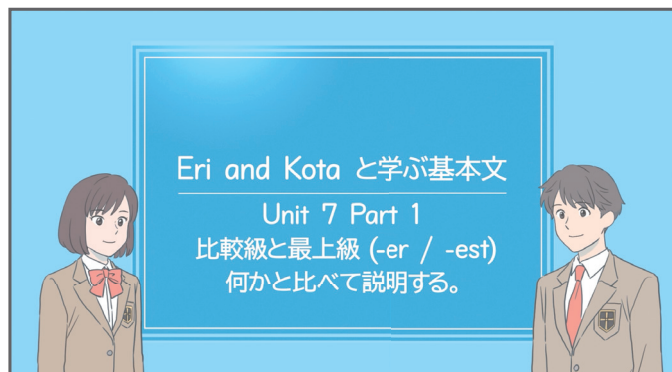
- 本文の音声を聞いた後、生徒がそれぞれの端末でピクチャーカードの並べかえを行い、ストーリーのおおまかな内容をつかむことができたかを確認する。
わからないときは、何度もくり返し音声を聞く。
- 個別やペア、グループで活動してもよい。

▶ Story Retelling を行う Extra

- ペアになり、端末上でピクチャーカードを拡大表示しながら、ストーリーの内容を自分の言葉でリテリングする。
- キーワードを表示して、それをヒントに活動してもよい。
- 学期末にパフォーマンステストとして行うこともできる。

■ Eri and Kota と学ぶ基本文 (文法等の学習動画)

Unit の「基本文」欄の  や、Daily Life ページなどにある  から起動する。
当該ページの QR コードからもアクセスできる。

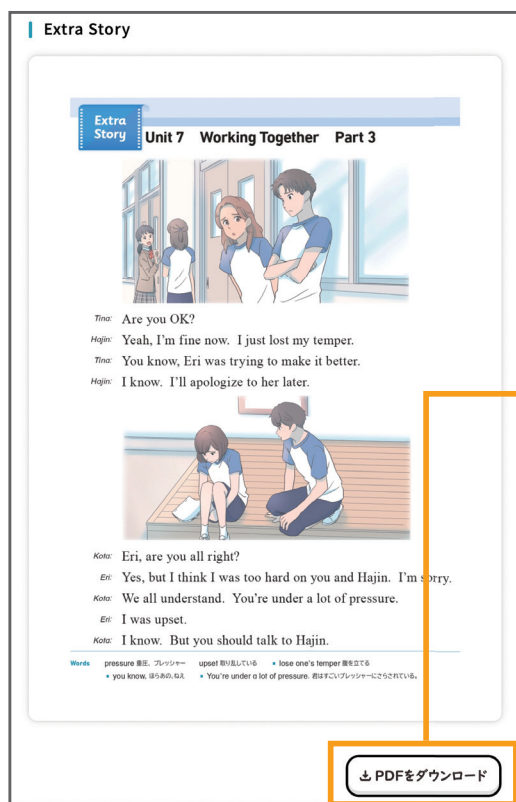


主な使い方

- ▶ 家庭学習に使用する **Extra**
- 授業の予習や復習として使用する。
 - 定期テスト前の確認に使用してもよい。
 - 動画を参考に、自分のことについて言う練習をしてもよい。

■ Extra Story (補充用リーディング教材)

Unit の Part ページにある  から起動する。
当該ページの QR コードからもアクセスできる。
Unit のストーリーの番外編となるリーディング教材を読むことができる。



音声も視聴できる。

PDF をダウンロードする。

主な使い方

- ▶ リスニングやリーディングの補充に使用する **Extra**
- 授業内でストーリーを予測させてから、音声を聞かせる。
 - 宿題として、家庭で読んだり聞いたりして、内容を確認してもよい。

■ テストにトライ！（スピーキングテスト動画）

You Can Do It! ページにある  から起動する。
当該ページの QR コードからもアクセスできる。

Beautiful Places in Our City



Mt. Hikari



Lake Hikari



City Museum



Green Park

解答中

0:15

残り時間

主な使い方

▶ パフォーマンステストに使用する

- 学期末などのパフォーマンステストに向けた家庭学習で活用できる。
- 「テストにトライ！」をパフォーマンステストとして出題してもよい。
各自で問題に取り組んでいる様子を、端末の機能を使って録音・録画して提出させると、評価に使用したりクラス内で共有したりすることができる。

▶ 語学検定や高校入試等の対策に使用する Extra

- 語学検定や高校入試のスピーキングテストに向けた練習として使用できる。
再生速度を遅くしたり、解答準備時間で一時停止したり、個人のペースに合わせて使用してもよい。

▶ ライティングの力を伸ばす Extra

- 話す練習だけでなく、書く練習に使用することもできる。
問題文を聞く、あるいは読んで解答を書くことで、ライティングの力がつく。
書いた内容は、教師に提出させてもよい。

■ Speaking モデル／ Writing モデル（活動モデル）

You Can Do It! ページにある **QR** から起動する。

当該ページの QR コードからもアクセスできる。

単元の到達目標のめやすとなる、活動モデルを確認できる。

Speaking モデル（動画）



Writing モデル（PDF）

Writing モデル

You Can Do It! 「わが町観光プラン」をおすすめしよう

■ Writing モデル

Welcome to Kamakura City! It has a lot of shrines and temples. It also has beautiful nature. You can see the mountains and the sea.

	見どころ	おすすめのポイント	かかる時間	予算
1. History	Kotoku-in	You can see a big Buddha statue. If you pay 50 yen, you can go inside.	1 hour	350 yen
2. Food	Shirasu rice bowl	Shirasu is a lot of very small, white fish. It's so fresh and delicious!	1 hour	1,000 yen
3. Sport	Yuigahama Beach	You can enjoy swimming. You will see the beautiful sunset in the evening.	2 hours	1,500 yen

I hope you enjoy my plan in Kamakura City. I'm looking forward to seeing you!

[↓ PDFをダウンロード](#)

PDF をダウンロードする。

主な使い方

▶ 単元の到達イメージを共有する

- 単元の導入として、Speaking モデル／ Writing モデルを参照し、教師と生徒の間でゴールのイメージを共有する。

▶ 中間ふり返りに使用する

- 一度アウトプットを行った後、改善点を考える際に、Speaking モデル／ Writing モデルを参照する。
- アウトプットに使用する言語表現の手がかりとしてもよい。

■ About You (Active Grammar ミニアニメ)

Active Grammar ページにある  から起動する。
当該ページの QR コードからもアクセスできる。



主な使い方

▶ 文法事項の確認に使用する

- Active Grammar ページの「About You」の活動に取り組む際に、アウトプットのヒントとして活用できる。
- キャラクターが話す内容から、使用できる言語表現を探してもよい。

▶ 家庭学習に使用する Extra

- 「About You」の活動に宿題として家庭で取り組む際に、使用してもよい。
- キャラクターの質問に対する答えを、端末を使って録音したり、書いたりして、教師に提出することもできる。

▶ 語学検定や高校入試等の対策に使用する Extra

- 語学検定や高校入試のスピーキングテスト、ライティング問題等に向けた練習として使用できる。
- 再生速度を遅くしたり、字幕を表示したり、個人のペースに合わせて使用してもよい。

■ Let's Talk! (モデル動画、ルーレット)

Let's Talk! ページにある **QR** から起動する。

当該ページの QR コードからもアクセスできる。

即興的なやり取りと発表のモデル動画を視聴したり、会話のトピックをランダムに決めるルーレットを使用したりすることができる。

モデル動画



ルーレット



ルーレットをスタート/ストップする。

主な使い方

▶ 到達イメージを共有する

- 活動の導入としてモデル動画を視聴し、教師と生徒の間で到達イメージを共有する。
- やり取りや発表の活動に一度取り組んだ後に、モデル動画を視聴することで、活動の改善のためのヒントや手がかりを得ることができる。

▶ ペアやグループで楽しく活動する

- Let's Talk! に取り組む際、話したりやり取りしたりするトピックをルーレットで決めることで、活動に楽しく取り組める。

▶ 個人練習に使用する **Extra**

- 家庭等で自主学習をする際に、ルーレットで出たトピックについて即興的に話す練習ができる。キャラクターに伝えるつもりで取り組んでもよい。
- ルーレットで出たトピックについて、書く練習をすることもできる。

■ Story Retelling（モデル動画）

Story Retelling ページにある  から起動する。

当該ページの QR コードからもアクセスできる。

リテリング活動のモデル動画を視聴できる。



主な使い方

▶ 到達イメージを共有する

- 活動の導入としてモデル動画を視聴し、教師と生徒の間で到達イメージを共有する。
- 活動に一度取り組んだ後に動画を視聴して、自らのリテリングとの違いを探し、改善点を考えるための手がかりとして使用してもよい。

■ Let's Be Friends! / Sounds and Letters（音声／動画）

1 年生の Let's Be Friends! / Sounds and Letters ページにある



から起動する。当該ページの QR コードからもアクセスできる。



主な使い方

▶ 英語の音や文字を確認する

- Let's Be Friends! の音声や動画で、アルファベットの音や書き方を学習する。
- Sounds and Letters の音声で、英語の音と文字の基礎を学習する。

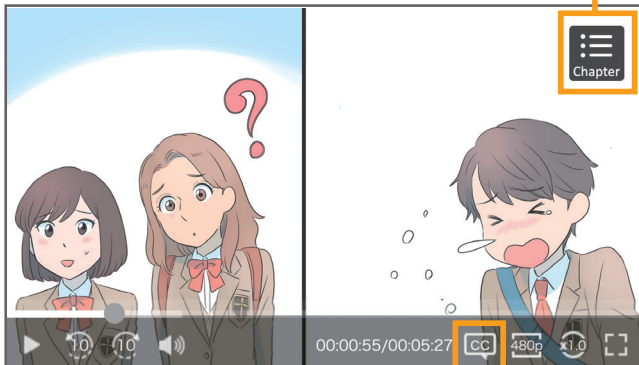
■ Play Back the Story（前学年のふり返しコンテンツ）

2、3年生の Play Back the Story ページにある **QR** から起動する。

当該ページの QR コードからもアクセスできる。

前の学年のストーリーを読んだり聞いたり見たりすることができる。

再生する Unit を選択する。



字幕を表示する。

主な使い方

▶ 教科書のストーリーをふり返る

- 音声を聞いたり、スライドアニメを見たりして、前の学年のストーリーを復習する。
- 学習中の Unit と関連する前の学年のストーリーを読むことで、一度学習した英語の表現にくり返し触れることができる。

▶ リテリングに活用する **Extra**

- 前の学年のストーリーについてリテリングを行うことで、既習の語彙や文法を効率的に復習することができる。

■ ICT を活用しよう（動画）

各学年巻頭⑤の「ICT を活用しよう」ページの **QR** から起動する。

当該ページの QR コードからもアクセスできる。

個別最適な学びと協働的な学びの両方について、

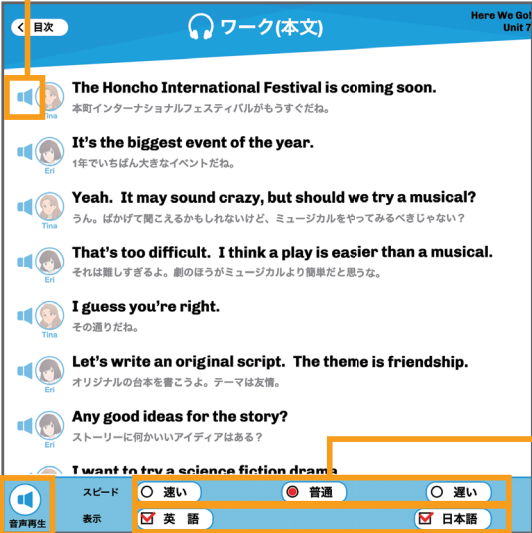
1 人 1 台端末の具体的な活用方法を確認できる。



■ ワーク（本文）

Unit の扉ページ等にある  から起動する。

特定の文を再生する。



再生速度を変更する。

マスクの有無を選択する。

本文の音声を通して再生する。

主な使い方

▶ 本文理解を深める Extra

- 日本語を非表示にして、英文の意味を理解できているか確かめる。
- 英語を非表示にして、日本語を見て英語で言う練習をする。

■ ワーク（語句）

Unit の扉ページ等にある  から起動する。

音声を再生する。



英語・日本語の表示／非表示を切り替える。

語句の出題順。

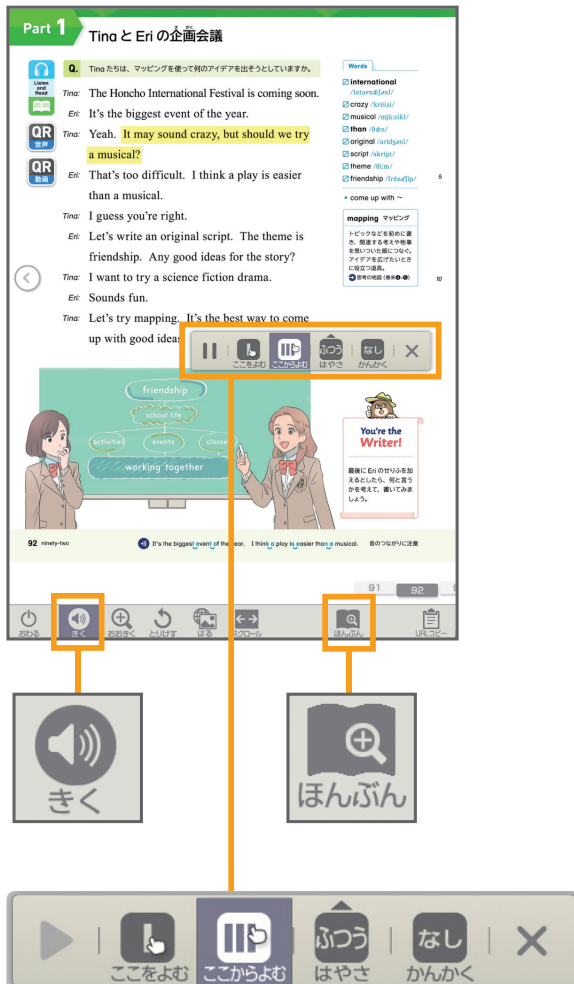
主な使い方

▶ 語句を確認する Extra

- 語句の発音と意味を確認する。
- 日本語をマスクで隠し、語句の意味を確認する練習や、英語をマスクで隠し、日本語を英語に言い換える練習をすることもできる。
- テスト前の確認に使用してもよい。

■ まなビューアの機能

【きく】【ほんぶん】



【ろくおん】

録音を開始／停止する。



録音した音声を再生／停止する。

- ※ ブラウザ側からマイクの使用の許可を求められた場合は、「今回のみ許可」もしくは「常に許可」等を選択してください。
- ※ iPad の Safari において、「ろくおん」ボタンを押した状態でデジタル教科書の音声を再生したり、デジタル教科書の音声を再生中に「ろくおん」ボタンを押したりすると、音量が変わることがあるので、ご注意ください。
- ※ 「ろくおん」は、30 秒まで可能です。本ごとに一つだけ保存でき、再度録音すると前のものは消えます。保存した音声はまなビューア上で聞くことができます（ダウンロードはできません）。

主な使い方

▶ 音と文字を一致させる

- デジタル教科書の紙面上で、「きく」機能を使って本文の音声を聞く。
- 音声を聞きながら文字を見てなぞり、音と文字を一致させる。
- 理解度に応じて、本文を読み上げる「はやす」を調整してもよい。

▶ 語句を確認する

- デジタル教科書の紙面上で、「きく」機能を使って Words の音声を聞き、発音を確認する。
- 「ほんぶん」機能を使うと、文字を拡大したり書体を変更したりなど、それぞれの生徒に適した表示方法にできる。

▶ Listen and Repeat 等を行う

- デジタル教科書の紙面上で、「きく」機能を使い、「かんかく」を「あり」にして Listen and Repeat や、Read and Look Up を行う。

主な使い方

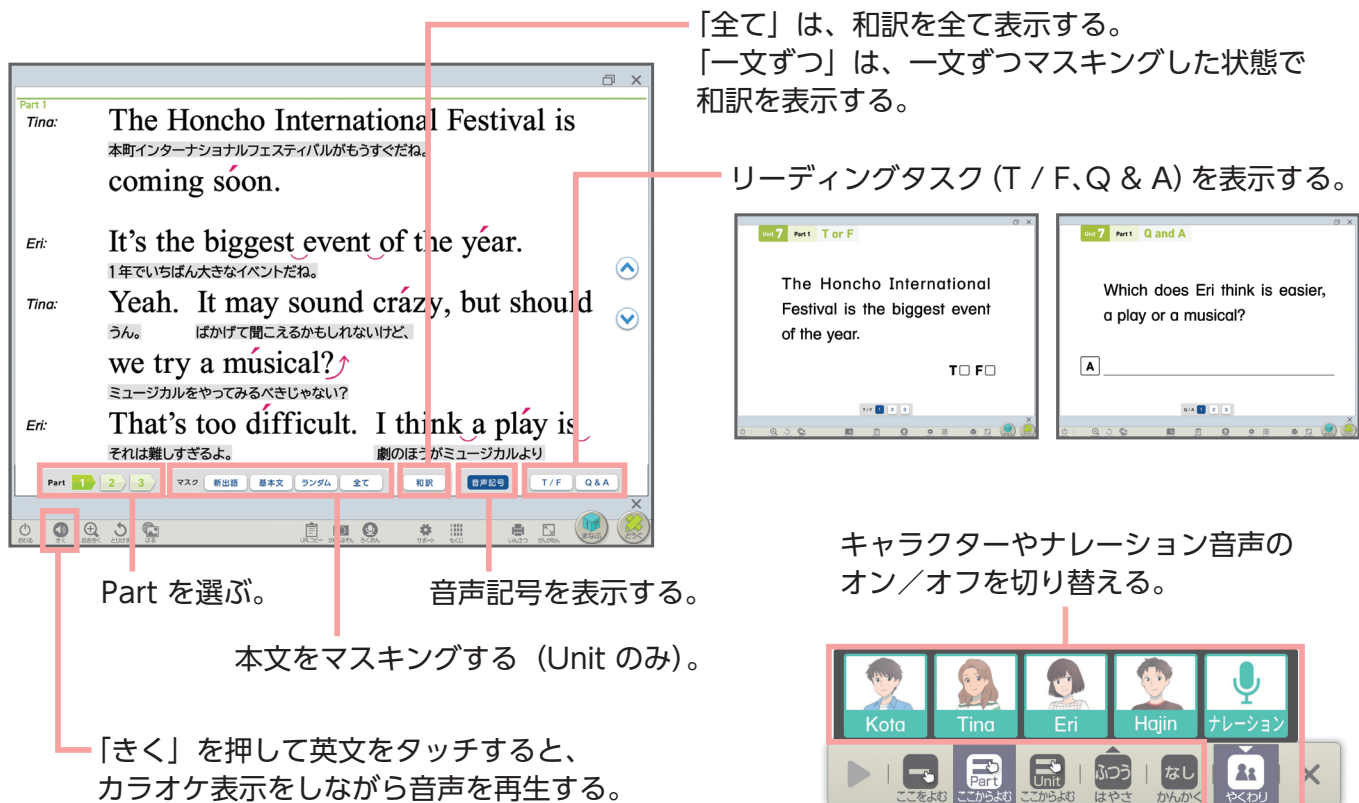
▶ 音読練習に使用する

- 教科書紙面を見ながら自分の音読音声を録音する。録音した音声を再生し、デジタル教科書のネイティブスピーカーの音声と聞き比べ、発音の改善点を考える。何度もくり返し録音・練習するとよい。

3. 学習者用デジタル教科書＋教材の機能

■ 本文

各 Unit の Part および Let's Read ページにある  から起動する。



「全て」は、和訳を全て表示する。
「一文ずつ」は、一文ずつマスキングした状態で和訳を表示する。

リーディングタスク (T / F、Q & A) を表示する。

Part を選ぶ。

音声記号を表示する。

本文をマスキングする (Unit のみ)。

「きく」を押して英文をタッチすると、カラオケ表示をしながら音声を再生する。

キャラクターやナレーション音声のオン／オフを切り替える。

主な使い方

▶ 本文の内容を定着させる

- 「きく」機能を使い、カラオケ表示を見ながら、音と文字を一致させる。
理解度に応じて、再生速度を遅くしたり、和訳を表示したりすると、個別最適な学びにつながる。

▶ 音読練習をする

- 「きく」機能を使い、「かんかく」を「あり」にして、Listen and Repeat をする。
- 「やくわり」で特定のキャラクターの音声を「オフ」にし、キャラクターになりきって音読する。
- 「マスク」機能で本文の一部を隠して音読練習をする。
ペアを作って1人が音読、1人が本文の全文を見てチェックをしてもよい。「マスク」を「全て」、「和訳」を「全て」にし、日本語を見ながら英語で話す練習をすることもできる。
- 音声記号を表示すると、発音のポイントを意識した練習ができる。

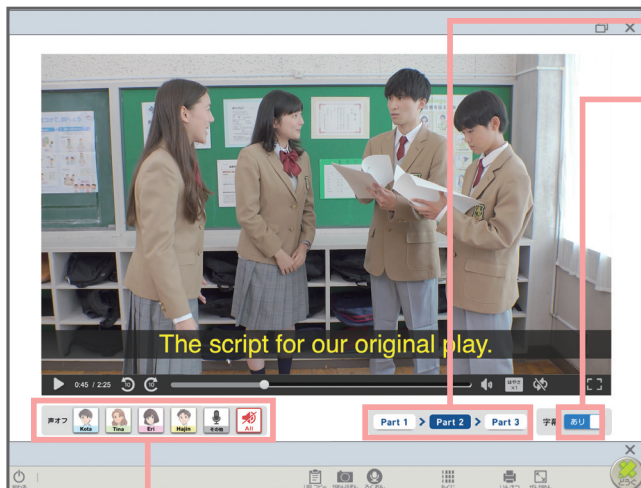
▶ 本文の理解度を確かめる

- 本文を読んだ後、「T / F」「Q & A」に各自で取り組む。ペアやグループで話し合ってもよい。
- 学習支援ソフトウェアを使用して解答を教師に提出し、クラス全体で共有することもできる。

■ スライドアニメ／実写ドラマ（Unit の本文の動画）

各 Unit の扉や Part ページにある   から起動する。

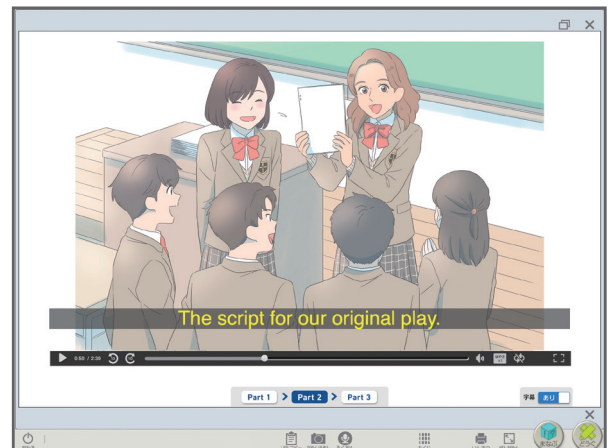
また、「実写ドラマ」は  内の  から起動できる。



実写ドラマ

再生する Part を選ぶ。

字幕のあり／なしを切り替える。



スライドアニメ

特定のキャラクターの音声をオフにすることができる。
もう一度押すと音声が入る。
「All」を押すと、全キャラクターの音声が入る。
もう一度押すと、全キャラクターの音声が入る。

Tina の音声をオフにした場合



※声オフ機能は、特定のキャラクター（1 人）か、キャラクター全員にのみ設定できます。

主な使い方

▶ 動画を見て本文の内容を確認する

- Unit の導入で、本文の音声を聞いた後、動画を見てストーリーの内容を確認する。
- スライドアニメと実写ドラマのうち好きなほうを選んで使う、字幕を表示する、再生速度を変更するなど、個に応じた学び方ができる。

▶ 音読練習をする Extra

- 「ドラマ」の「声オフ」機能を使用し、登場人物になりきって音読練習をする。
字幕をオン、キャラクターの音声を 1 人オフにし、せりふに合わせて音読する。
- ペアやグループで配役を決め、「声オフ」で「All」を選択し、役割読みの活動を行うこともできる。
- 慣れてきたら字幕をオフにしてもよい。

■ 音声

各 Unit の扉や Part、Goal、You Can Do It! ページ等にある  から起動する。設問を拡大表示したり、スクリプトを表示したりできる。

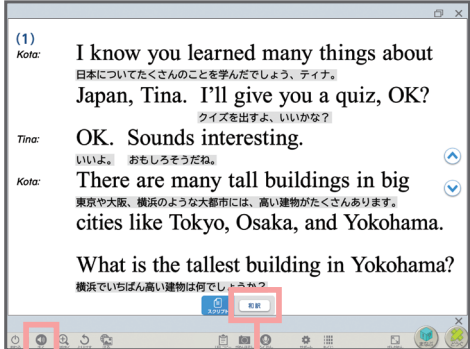
再生開始位置を選ぶ。



音声再生/停止する。

再生速度を変更する。

スクリプトを表示する。



和訳を表示する。

音声を再生する
(カラオケ表示)。

主な使い方

▶ 個別にリスニング活動を行う

- 生徒がそれぞれの端末を使い、Listen の音声を聞いて設問に答える。
- わかるまで何度も音声を聞く、わからなかった箇所だけもう一度聞く、再生速度を変更するなど、個に応じた学び方で活動できる。

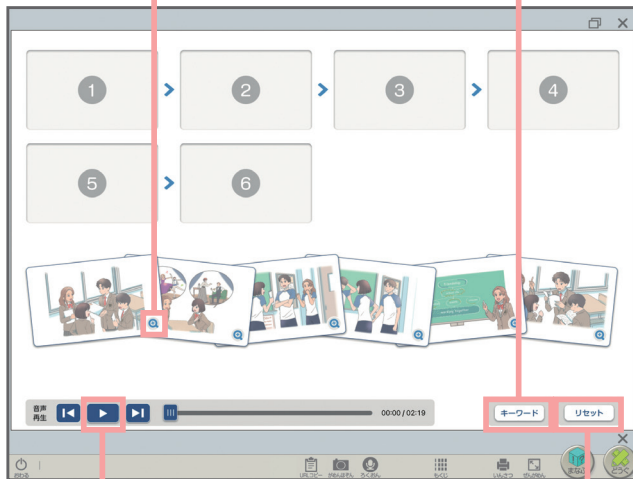
▶ スクリプトを見ながら音声を聞く

- リスニングの英文を聞き取れなかったときは、スクリプトを表示し、音声を聞きながら文字を見てなぞる。和訳を表示してもよい。
- 音声を聞きながら発声するオーバーラッピングを行なうと、発音の練習になる。

■ ピクチャーカード並べかえ

各 Unit の扉や Let's Read ページ（1 年 Let's Read 2、2 年 Let's Read 1 のみ）にある  や、 内の  から起動する。

カードを大きく表示する。 キーワードを表示する（Unit のみ）。



本文音声再生する。

カードを初期位置に戻す。

主な使い方

▶ 本文の概要理解度を確認する

- 本文の音声を聞いた後、生徒がそれぞれの端末でピクチャーカードの並べかえを行い、ストーリーのおおまかな内容をつかむことができたかを確認する。
- わからないときは何度もくり返し音声を聞く。
- グループごとに活動してもよい。

■ ピクチャーカード

各 Unit の Part と Let's Read ページにある  や、 内の  から起動する。

表示するカードを選ぶ。



カードの音声を再生する。

カードの一覧を表示する。

カードのキーワードを表示する（Unit のみ）。

主な使い方

▶ Story Retelling を行う Extra

- ペアになり、端末上でピクチャーカードを拡大表示しながら、ストーリーの内容を自分の言葉でリテリングする。
- キーワードを表示して、それをヒントに活動してもよい。
- 「ALT にストーリーを説明しよう」などのテーマを設定し、パフォーマンステストとして行ってもよい。
- 「どうぐ」機能を使って、自分の考えたキーワードを書き込むこともできる。

■ フラッシュカード



内の から起動する。

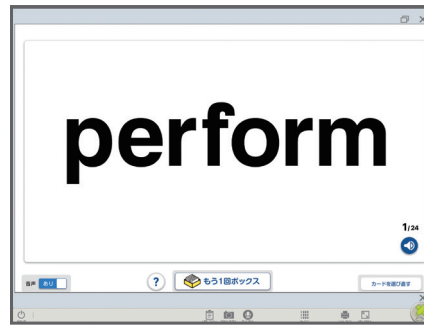
学ぶ語句を選んだり、語句が定着したかチェックしたりできる。

教科書で太字の語句（発信語彙）のみ再生する。

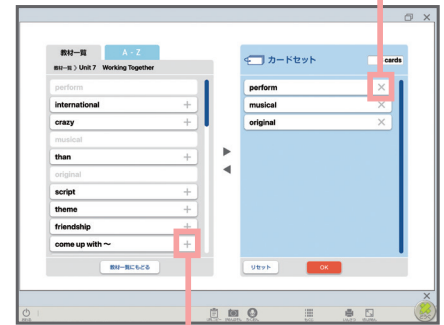
語句をカードセットから取り除く。



設定画面



再生画面



カードセット画面

語句をカードセットに追加する。



「覚えたチェック」操作方法



「覚えたチェック」後の
「もう1回ボックス」



「覚えたチェック」終了画面

主な使い方

▶ 語句を確認する

- 当該単元の語句の音声と意味を確認する。

▶ 自主学習に使用する

- 「英→日」または「日→英」を選択し、英語を見て日本語の意味を言ったり、日本語を見て英語で言ったりする練習をする。
- 「覚えたチェック」機能を使用してわからない語句を振り分け、「もう1回ボックス」が空になるまで練習すると、個別最適な学びにつながる。
わからない語句がゼロになり、「もう1回ボックス」が空になると、「Perfect!」の表示が現れる。
- 定期テスト前などに、単元や教材を横断したオリジナルのカードセットを作成して学習することもできる。

Words



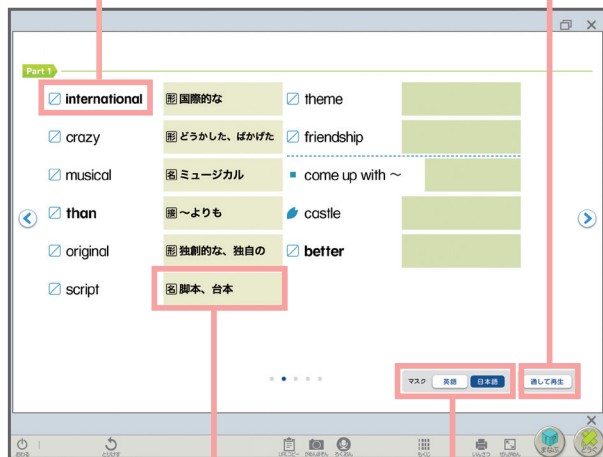
内の



から起動する。

画面内の語句の音声を通して再生する。

タッチすると音声再生される。



英語または日本語を隠す。

マスクをタッチすると、語句が表示される。
もう一度タッチすると、語句が隠される。

主な使い方

▶ 語句を確認する

- 当該単元の語句の音声と意味を確認する。

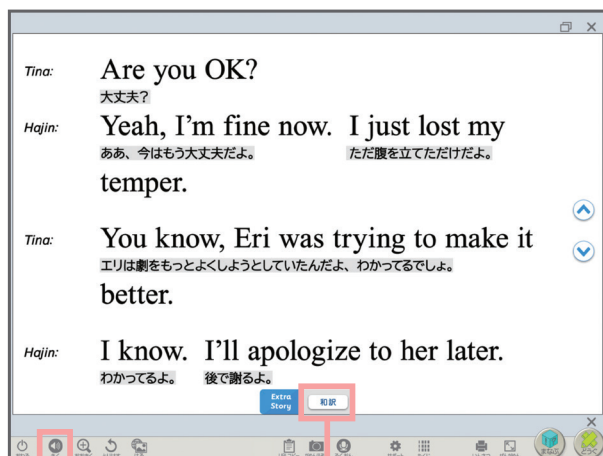
▶ 語句の意味とつづりを身につける

- 日本語をマスクで隠した状態で音声を聞き、日本語の意味を想起する練習をする。
- 英語をマスクで隠した状態で音声を聞き、日本語の意味を見て英語の語句のつづりを紙等を書く。その後、マスクをオフにして語句を表示し、つづりを確認する。

Extra Story(補充用リーディング教材)

各 Unit の Part ページにある  から起動する。

Unit のストーリーの番外編となるリーディング教材を読める。



音声を再生する
(カラオケ表示)。

和訳を表示する。

主な使い方

▶ リスニングやリーディングの 補充に使用する

Extra

- 授業内でストーリーを予測させてから、音声を聞かせる。
- 復習として、家庭で読んだり聞いたりして、内容を確認してもよい。

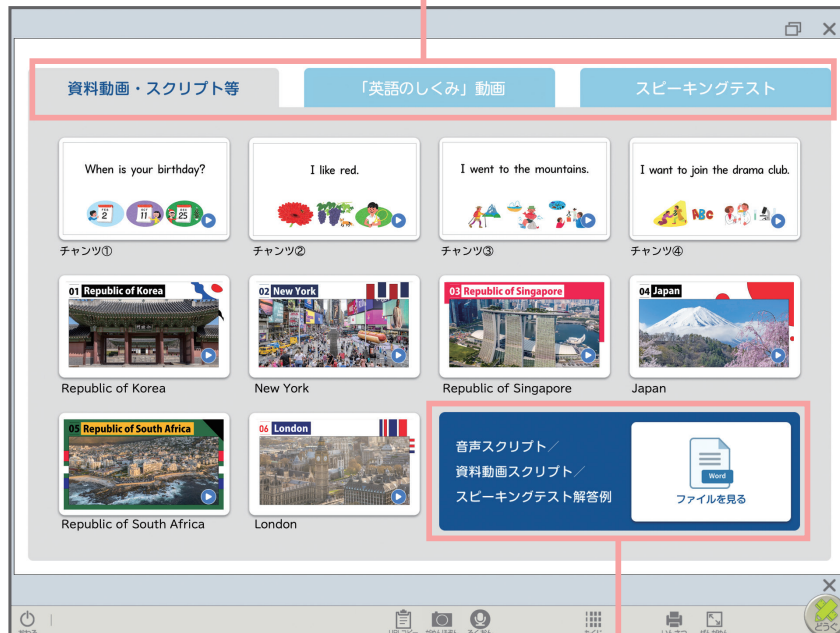
資料一覧

※収録している動画は、全学年共通です。



内の 資料一覧 から起動する。

タブを切り替える。



音声スクリプトやスピーキングテスト解答例の Word データをダウンロードする。



資料動画



「英語のしくみ」動画



スピーキングテスト

主な使い方

- ▶ 教科書内で扱われている国や地域に関する動画を見る
 - Unit 等の学習時に、関連する国や地域の資料動画を見る。
 - ペアやグループで、動画を見て気づいたことについて話し合ってもよい。
- ▶ 文法や表現に関する理解を深める
 - 宿題として「英語のしくみ」動画を見て、動画内で問われていたことについて自分で考えたり、調べたりする。
- ▶ スピーキングテストに挑戦する
 - 語学検定や高校入試のスピーキングテストに向けた練習として、「スピーキングテスト」の動画に取り組む。QR コンテンツの「テストにトライ!」とは別の、追加問題にも取り組むことができる。再生速度を遅くしたり、解答準備時間で一時停止したり、個人のペースに合わせて使用してもよい。

4. 指導者用デジタル教科書（教材）の機能

■ 解答表示



や、



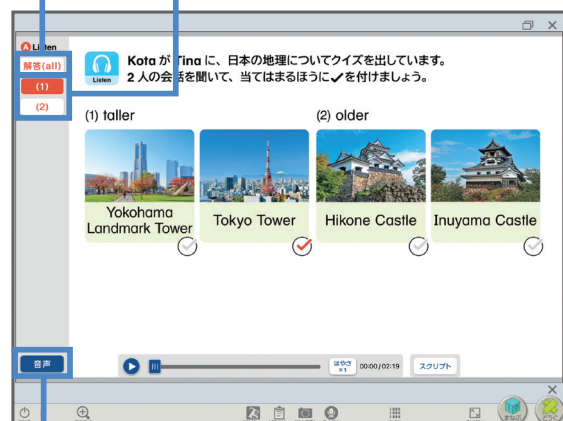
の T / F、Q & A、



で、解答を表示する。

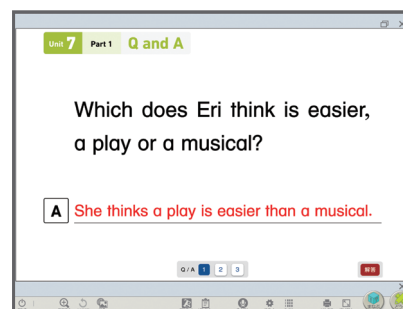
全ての設問の解答を表示する。

選んだ設問の解答のみ表示する。

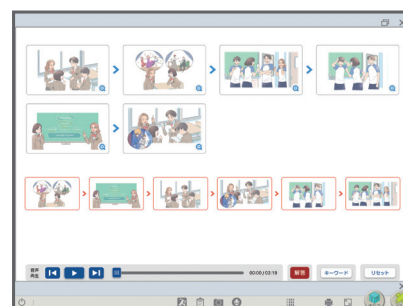


音声の解答表示

音声の再生タブに戻る。



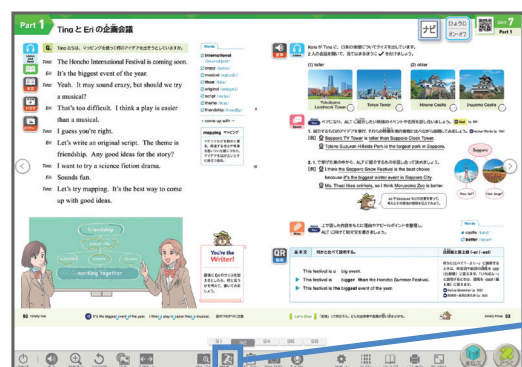
本文の Q & A の解答表示



ピクチャーカード並べかえの解答表示

■ T サポート

指導サポートウェブサイトアクセスし、ワークシートや指導用資料などのデータをダウンロードできる。



ワークシートの例

■ 学習履歴

「本棚」の「ダッシュボード（指導用）」から起動する。

「学習者用デジタル教科書」「学習者用デジタル教科書＋教材」と連携し、各生徒が表示したページや表示回数等の学習履歴を確認できる。